

専門工事企業の施工能力等の見える化制度について

■ 専門工事企業の施工能力等の見える化制度の目的

建設業は、近い将来、高齢者の大量離職が見込まれることから、中長期的な観点からの担い手の確保・育成が課題となっています。

専門工事企業の施工能力の見える化制度は、建設キャリアアップシステムに登録・蓄積される情報を活用した建設技能者の能力評価制度と連動し、個々の企業が、どのレベルの職人を何人雇用しているのかの企業の施工能力に関する情報等を「見える化」することで、優秀な建設技能者を抱え、育てる企業が選ばれ、それによって、所属する建設技能者の処遇改善や人材投資に繋がるといった建設業界における処遇改善や人材投資の好循環を生み出すことを期待するものです。

人を大切にし、施工能力等の高い専門工事企業が適正に評価され、選ばれる環境が整備されることにより、建設技能者の処遇改善や人材への投資が促進され、業界に対する安心感（不良不適格業者の排除）が熟成されるための仕組みを構築することが、見える化制度の目指すものとなっています。

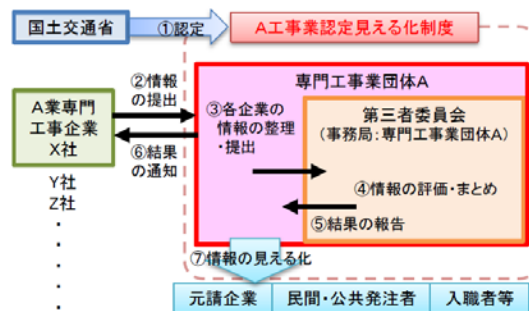
なお、9月20日に、「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」の中間とりまとめを行っておりますので、詳細につきましては以下 URL をご参照頂ければと存じます。（中間とりまとめの概要については別紙を参照願います。）。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000797.html

■ 専門工事企業の施工能力等の見える化制度に係るアンケート調査

国土交通省は、平成30年4月末に「専門工事企業の施工能力の見える化等に関する検討会」を設置し、見える化制度の構築にあたり、発注者、元請企業、専門工事企業それぞれの立場を考慮しながら、どのような項目・内容を「見える化」するか、また、見える化した情報の活用方法等について、検討を進めています。

今後、見える化制度の構築を行うとともに、見える化制度の活用を促進していく観点から、発注者や元請企業にアンケート調査を行うものとなっておりますので、ご協力頂きますようお願いいたします。



見える化制度のスキーム図(案)

専門工事企業に関する評価制度の構築に向けた アンケート調査

<③元請企業用>

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課

目的

このアンケート調査は、今後、見える化制度の構築を行うとともに、見える化制度の活用を促進していく観点から、発注者や元請企業にアンケート調査を行うものとなっておりますので、ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

留意事項

- このアンケート調査は、元請企業にご協力いただき、WEBでご回答いただく仕組みとなっております。
- アンケート調査の回答は統計的に処理し、調査結果は目的以外に使用することはありません。
- アンケート調査結果は、集計データを公表させていただくことがありますが、個別名称等を公表することはありません。
- 趣旨をご理解いただき、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。
- アンケート調査については、国土交通省より、(一財)建設産業経理研究機構に委託をしています。問い合わせがございましたら、以下の担当あてに連絡頂きますようよろしくお願いいたします。

回答方法

- (1) 「<http://www.ari.co.jp/farci/prime/>」ページにアクセスし、WEB アンケート画面を開いて下さい。
- (2) 選択肢のある設問には、該当する選択肢番号を選択して下さい。記入欄がある設問には、具体的な数値や記述をご記入下さい。なお「*」がついているのは、「必須」設問です。WEB が利用できない場合は、FAX の回答も可能です。
- (3) 各設問は、原則として平成 30 年 11 月 1 日現在の状態を記入して下さい。

回答期限 平成 30 年 12 月 28 日(金)

お問い合わせ

設問・内容に関するお問合せ先
一般財団法人建設産業経理研究機構
担当 荒井、伊藤
TEL 03-5425-1261 (平日 10:00-17:00)

回答方法に関するお問合せ先
株式会社日本アプライドリサーチ研究所
担当 専門工事業の”見える化”調査係
TEL 03-3868-3639(平日 10:00-17:00)
※12月28日(金)は(一財)建設産業経理研究機構
にお問い合わせください

●最初に基礎情報についておこたえ下さい

F1.主な業種 (回答はいくつでも)	※ 下記の選択肢より選択して下さい	F2.総工事高に占める公共・民間工事の割合(回答は一つ) ※今年度、貴社が請け負った工事について	1 公共工事が主である 2 民間工事が主である 3 公共工事と民間工事はほぼ同程度である
F3.資本金規模 (回答は一つ)	1. 1,000万円未満 4. 1億円以上5億円未満 7. 50億円以上100億円未満	2. 1,000万円以上3,000万円未満 5. 5億円以上10億円未満 8. 100億円以上	3. 3,000万円以上1億円未満 6. 10億円以上50億円未満
F4.従業者数 (回答は一つ) ※期間の定めのある従業員、及び直接的な雇用関係がない従業員を除く全就業者の数	1. 1人 4. 10～29人 7. 300～499人	2. 2～4人 5. 30～99人 8. 500～999人	3. 5～9人 6. 100～299人 9. 1,000人以上
F5.完工高 (回答は一つ) ※直近の年間完成工事高	1. 5000万円未満 4. 3億円以上5億円未満 7. 30億円以上50億円未満	2. 5000万円以上～1億円未満 5. 5億円以上10億円未満 8. 50億円以上	3. 1億円以上3億円未満 6. 10億円以上30億円未満
F6.完工高が総売上高に占める割合 (回答は一つ) ※直近5期のおおよその平均割合	1. 50%未満 2. 50%以上70%未満 3. 70%以上90%未満 4. 90%以上		

※ 業種 選択肢一覧

- | | | |
|--------------------|--------------|------------|
| 1 土木工事業 | 11 鋼構造物工事業 | 21 熱絶縁工事業 |
| 2 建築工事業 | 12 鉄筋工事業 | 22 電気通信工事業 |
| 3 大工工事業 | 13 ほ装工事業 | 23 造園工事業 |
| 4 左官工事業 | 14 しゅんせつ工事業 | 24 さく井工事業 |
| 5 とび・土工工事業 | 15 板金工事業 | 25 建具工事業 |
| 6 石工事業 | 16 ガラス工事業 | 26 水道施設工事業 |
| 7 屋根工事業 | 17 塗装工事業 | 27 消防施設工事業 |
| 8 電気工事業 | 18 防水工事業 | 28 清掃施設工事業 |
| 9 管工事業 | 19 内装仕上工事業 | 29 解体工事業 |
| 10 タイル・れんが・ブロック工事業 | 20 機械器具設置工事業 | 30 その他() |

下請企業(専門工事企業)の評価の現状について

《すべての方にお尋ねします》

***問1 貴社が取引する下請企業(専門工事企業)は、ある程度固定化されていますか、あるいは毎回探していますか。(回答は一つ)**

1. 専属的な協力会社を構成員とする協力を組織しているため、取引は固定化している
2. 工事内容や地理的な条件により、協力会社以外との取引も行っている
3. 工事ごとに、毎回探している
4. その他()

《すべての方にお尋ねします》

***問1-1 貴社では、受注した工事を施工する下請企業(専門工事企業)の選定において、特定の情報(重視する情報、要件等)を把握していますか。(回答は一つ)**

1. 全階層を対象として、把握している → 問1-2へ
2. 一次下請企業は把握しているが、それ以下は把握していない → 問1-2へ
3. 一次から二次下請企業までは把握しているが、それ以下は把握していない → 問1-2へ
4. 一次から三次下請企業までは把握しているが、それ以下は把握していない → 問1-2へ
5. 全く把握していない → 問1-4へ
6. わからない → 問1-4へ

《問1-1で、「1」「2」「3」「4」と回答した方にお尋ねします》

***問 1-2 下請企業（専門工事企業）の情報を把握する目的や理由は何ですか。（回答はいくつでも）**

1. 協力会に所属する下請企業に、優先的に発注するため
2. 若手技術者・技能者の育成確保や機会保有状況等を評価するため
3. 現場で活躍する職長を評価し、工事の適切な施工を確保するため
4. 工事の施工力は、元請と下請の総合力で決まると考えるため
5. その他（ ）

《問1-1で、「1」「2」「3」「4」と回答した方にお尋ねします》

***問 1-3 下請企業（専門工事企業）に関する情報はどのように入手していますか。（回答はいくつでも）**

1. 下請企業が見積を提出する際に併せて下請企業の情報を提出させている。
2. 見積の審査段階で、下請企業の情報を提出させている。
3. 下請企業決定後の元請下請間の打合せ等において、情報を入手している。
4. 工事成績評定時に、下請企業の情報を入手している。
5. 経営事項審査結果など、公開された情報を入手している
6. 独自の方法で入手している（具体的に ）
7. その他（ ）

《問1-1で、「5」「6」と回答した方にお尋ねします》

***問 1-4 下請企業（専門工事企業）に関する情報を把握していない理由は何ですか。（回答はいくつでも）**

1. 情報を把握するための人手が足りないため
2. 対象者が多く、考慮・評価するのが容易でないため
3. 何を把握すれば良いか分からないため
4. 把握する必要がないため
5. その他（ ）

専門工事企業の施工能力等の見える化制度について

《すべての方にお尋ねします》

***問 2 専門工事企業の施工能力等の見える化制度においては、下記の項目を「共通項目」（建設業界共通の必須情報）として検討しています。貴社が元請として下請企業（専門工事企業）を評価する場合（または、評価すると仮定した場合）、どの項目を重視しますか。それぞれの項目ごとに、いずれかを選択（✓）してください。またその理由をお書き下さい。**

共通項目(業界共通の必須情報)	重視する	重視しない
1. 建設業許可の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 建設業の営業年数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 財務状況等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 取引先	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 社員数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 団体加入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 建設技能者の人数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 施工実績	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 法令遵守	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 社会保険加入状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



このように「重視する」・「重視しない」を振り分けた理由は何ですか。基本的な考え方や評価の基準などについてお書き下さい。

《問2で、「重視する」項目を複数個選択した方にお尋ねします》

***問 2-1 重視すると選択した項目のうち、優先順位の高い項目について問 1-6 の項目番号 (1~10) よりお書き下さい (上位3つまで)。**

第1位 ()
第2位 ()
第3位 ()

《すべての方にお尋ねします》

***問 2-2 下請企業 (専門工事企業) の財務状況のなかで、特に重視している項目をすべて選択して下さい。問2で「3. 財務状況等」を「重視しない」と選択した方は、「重視する」ことを仮定した場合に、考えられる項目を回答して下さい。(回答はいくつでも)**

- | | | |
|----------------|-------------|---------|
| 1. 自己資本比率 | 2. 総資本経常利益率 | 3. 流動比率 |
| 4. 固定長期適合比率 | 5. 純支払利息比率 | 6. 資本金 |
| 7. 売上高 (完成工事高) | 8. その他 () | |

《すべての方にお尋ねします》

***問 3 見える化制度においては下記の項目を「選択項目」(各業種ごとの情報)として検討しています。貴社が元請として下請企業 (専門工事企業) を把握・評価する場合 (または、評価すると仮定した場合)、どの項目を重視しますか。それぞれの項目ごとに、いずれかを選択 (✓) して下さい。またその理由をお書き下さい。**

選択項目 (業種ごとの情報)	重視する	重視しない
1. 建機の保有状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 表彰	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 最大請負金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 協力会社	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 労働時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 安全関係団体加入状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 給与制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 休暇制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 労務管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 若年者の確保育成状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 女性の確保育成状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 研修・訓練の実施状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. 建設技能者の定着率	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 防災活動への貢献状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 国際標準化機構が定めた規格による登録状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 生産性向上・技術開発	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 民事再生法等の適用の有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18. 災害時対応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19. 経営力 (経営強化法に基づく経営力向上計画の認定の有無)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



このように「重視する」・「重視しない」を振り分けた理由は何ですか。基本的な考え方や評価の基準などについてお書き下さい。

《問6で、「4」と回答した方にお尋ねします》

問9 どのような情報があれば活用したいと思いますか。ご意見やご要望がありましたらご記入願います。

設問は以上です。ご回答ありがとうございました。
下記宛てにFAXを送信してください。
FAX:03-5425-1262